

一般社団法人山口県医師会平成26年度第19回理事会

平成27年1月8日(木) 午後5時～午後6時12分

小田会長、吉本・濱本副会長、河村専務理事、弘山・萬・林・加藤・藤本・今村常任理事、武藤・沖中・香田・中村・清水・原・舩津理事、山本・武内・藤野監事

協議事項

1 平成27年度予算編成の基本方針・日程について

国及び山口県の情勢を踏まえた基本方針と日程の協議を行った。

2 平成27年度新規事業について

平成27年度の山口県からの委託事業等を踏まえ、本会新規事業について各パートで検討を行い、次回理事会で協議することが決定した。

3 第2回郡市医師会会長会議について

2月19日開催の会長会議における日程及び提出議題について協議した。

4 運用資金の期限前償還及び運用について

外国債で運用している資金が期限前償還されることから、償還後の運用方針について協議を行った。

5 第10回医療関係団体新年互礼会について

平成27年1月10日(土)開催の互礼会の出席者が確定し、当日の次第及び役職員の担当等について協議を行った。

報告事項

1 第2回産業医研修カリキュラム策定等委員会(12月18日)

平成27年7月20日開催の「第28回日本臨床整形外科学会学術集会 維新学会・山口」における産業医研修の講師選定等について協議を行った。(藤本)

2 医事案件調査専門委員会(12月18日)

病院1件、診療所1件の事案について審議を行った。(林)

3 第2回山口県難病等審査協議会(12月18日)

難病法等に基づく新しい医療費助成制度及び新制度における審査体制について協議を行った。(濱本)

4 日本医師会女性医師支援センター事業中国四国ブロック会議（12月20日）
報告事項として、(1) 日本医師会女性医師支援センター事業、(2) 中国四国9県の産休・育休中の代替医師確保の状況、(3) 各県における女性医師支援活動報告が行われた。その後、平成27年度女性医師支援センター事業中国四国ブロック会議の担当県、平成26年度女性医師支援事業連絡協議会の発表県について協議を行い、ブロック会議の担当県は、中国四国医師会連合の当番県が担当することとし、女性医師支援事業連絡協議会の発表県は当番県が発表をすることが決定した。（加藤）

5 広島県医師会との懇談会（12月21日）
医師会連合各ブロックにおける負担金と中国四国医師会連合の繰越金状況、日医社会保険診療報酬検討委員会提出のための診療報酬改定に関する意見集約への対応等について協議を行った。（河村）

6 第65回山口県産業衛生学会・山口県医師会産業医研修会（12月21日）
「がん社会における産業保健の役割」をテーマに開催され、午前は、山口宇部医療センターの長友隆一郎 臨床心理士による講演「がん患者のこころのケア～「生活者」である患者理解と心理的支援～」、山口労働局労働基準部健康安全課の田中俊明 課長による講演「最近の労働衛生行政について」が行われた。午後は、「がんになっても安心して暮らせる社会へ産業保健のできることを」をテーマに、産業医科大学産業医実務研修センターの立石清一郎 講師による基調講演「職場におけるがん患者の就業支援」及び「外来でのがん治療の実際 医師の立場より」「がん患者の就労支援に必要な援助」「営業職として職場復帰した手術不能肺癌の一例」の講演と総合討論が行われた。参加者は、医師会103名、産業看護研究会39名、産業衛生管理者協議会6名、他1名の計149名であった。（藤本）

7 Ai学術シンポジウム（12月23日）
日本医師会館において「地域におけるAiの普及を目指して」をテーマに開催された。横倉会長、橋本 岳 厚生労働大臣政務官の挨拶後、第1部「地域におけるAiの普及」では、東北大学大学院医学系研究科画像解析学分野の齋藤春夫教授、福井大学医学部 Ai 情報センターの法木左近 副センター長、筑波メディカルセンター病院放射線科の塩谷清司 科長、小山記念病院診療技術部の横山寿宏 副部長・放射線科長の講演が行われ、第2部「地域におけるAiの活用の今後」では、総合討論が行われた。（中村）

8 個別指導「周南市」(12月24日)

病院1機関について実施され立ち会った。(萬、清水)

9 中国地方社会保険医療協議会山口部会(12月24日)

医科では、新規2件(組織変更2件)が承認された。(小田)

10 損害保険ジャパン日本興亜(株)との懇談会(12月24日)

近時の経済動向及び保険業界の情勢等について情報交換を行った。(河村)

11 会員の入退会異動

入会2件、退会11件、異動7件。(1月1日現在会員数:1号1,308名、2号890名、3号433名、合計2,631名)